

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	国際武道大学
設置者名	学校法人 国際武道大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
体育学部	武道学科	夜・通信		20		20	13	
	体育学科	夜・通信				20	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/syllabus/pdf/2020_0703_02.pdf ホーム>大学案内>履修の手引・授業概要>実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際武道大学
設置者名	学校法人 国際武道大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/disclosure/activity/organization/ ホーム>大学案内>情報公開>大学の活動>大学組織
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2020. 4. 1 ～ 2024. 3. 31	コンプライアンス
非常勤	公益財団法人役員	2021. 3. 23 ～ 2024. 3. 31	武道振興
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際武道大学
設置者名	学校法人 国際武道大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバス(Campus Life Guide)に以下の内容を記載して、ホームページ上に公開している。</p> <p>どのような授業があるのか(科目区分)、授業時間、授業概要、到達目標、毎時間ごとの授業計画、ディプロマポリシーとの関連性、受講・学習上のアドバイス、評価方法、実務経験のある教員等による授業の表示、教科書・参考書、CAP制、試験と成績など。</p> <p>授業計画の作成過程</p> <p>学生支援委員会において当該年度の作成ルール案を策定し学長の決定に従い、学内統一基準によるシラバスの作成を実施している。作成期間は11月～2月、公開は3月末に実施している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページに掲載</p> <p>https://asm-ediea.com/budo-u/open/ja/syllabuses</p> <p>ホーム>大学案内>履修の手引・授業概要>シラバス</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>ホームページで公開しているシラバス(Campus Life Guide)に、大学としての成績評価の基準等及び授業ごとに評価項目/その割合/評価基準を示し、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ホームページで公開しているシラバス(Campus Life Guide)に、本学のGPA制度について、その対象科目、算出方法を次のとおり示し、厳格かつ適正に評価を実施している。</p> <p>GPA (Grade Point Average : 学業平均値) 制度は、成績評価の指標として用いるために導入したものです。「S」「A」「B」「C」「D」の各評価にグレードポイント(GP)を設けていますが、そのポイントに各科目の単位数を掛けて足した合計ポイント(GPS)を、保留「H」を除外した合計単位数(履修登録単位の総和)で割り、スコア化したものがGPAです。</p> <p>ただし、GPAスコア算出にあたり、次の科目はこの制度の対象外となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年次教育科目 ・キャリア教育科目 ・教職科目(卒業要件単位に含めることはできない科目) ・自由科目 ・認定科目(他大学において単位を認定された科目) 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/syllabus/pdf/2023_0512_01.pdf ホーム>大学案内>履修の手引・授業概要>客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ホームページにおいて、本学の卒業認定に関する方針(ディプロマポリシー)及び、具体的な5つの能力を示し、その知識・能力を有する者に卒業を認定することを明らかにしている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/policy.html ホーム>大学案内>3つのポリシー</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	国際武道大学
設置者名	学校法人 国際武道大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/disclosure/financial_info/ ホーム>大学案内>情報公開>財務情報
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/disclosure/inspection/ ホーム>大学案内>情報公開>自己点検・評価報告

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/disclosure/inspection/ ホーム>大学案内>情報公開>自己点検・評価報告

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 体育学部
教育研究上の目的 (公表方法：ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/feature/ ホーム>大学案内>建学の精神・教育目標・各種方針)
(概要) 大学 国際武道大学は日本武道を主とした内外の指導者の育成を目指し、武道及び体育に関する諸科学を教授研究するとともに、国際的な感覚と高い教養をもち、専門的な知識と技能を体得した人物を養成し、国際社会及び地域社会に寄与し、指導的な役割を果たし得る人材を養成することを目的とする。 体育学部 体育学部は、武道精神を教育理念の柱とし、武道、体育及びスポーツの指導者育成を目指した諸科学の教授研究を通して、国際的な感覚や教養を養い、高い専門性を体得し、国際社会及び地域社会において指導的な役割を果たし得る人材を養成することを目的とする。 武道学科 武道学科は、日本の伝統文化としての武道を伝承し、知識の修得及び技術の修錬を通して、「術」を超えた「道」の精神を追求することにより、心身ともに健全で社会に貢献できる人材を育成する。 体育学科 体育学科は、様々な身体活動やスポーツの実践を通して、体育・スポーツを幅広く経験し研究することにより、豊かな人間性を兼ね備えた社会に貢献できる人材を育成する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/policy.html ホーム>大学案内>3つのポリシー)
(概要) 体育学部は、幅広い教養と専門的知識を修得し、種々の事象に柔軟に対応できる能力を発揮するとともに、武道、体育及びスポーツを通じて社会を豊かにすることができるとともに、卒業を認定し学位を授与します。この課程を修了し、以下の知識・能力を有すると認められる者に卒業を認定し学位を授与します。 1. 国際社会・地域社会の発展に寄与することができる。 2. 武道、体育及びスポーツに関する様々な課題に対し、幅広い教養と国際的感覚を持ち、主体的に判断し対応することができる。 3. 武道、体育及びスポーツに関する専門知識を修得し、体育学における諸事象を論理的・実践的に表現できる。

4. コミュニケーション能力、リーダーシップ、チャレンジ精神を身につけ、社会を豊かにするための適切な行動ができる。
5. 新たな課題を解決する論理的思考力を持ち、他者と協力・協調し、社会を豊かにしようとする意欲と行動力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：ホームページに掲載)

<https://www.budo-u.ac.jp/outline/policy.html>

ホーム>大学案内>3つのポリシー)

(概要)

国際的な感覚と高い教養並びに武道、体育及びスポーツの専門的な知識と技能を修得するため、以下の方針に基づきカリキュラムを編成し実施します。

1. 建学の精神を理解するための基幹科目を設置し、国際社会・地域社会の一員として必要な倫理的・社会的能力、創造力及び判断力等を涵養します。毎回の授業後に課すレポートにより評価します。
2. 学生の主体的・能動的な学修を促すため、学びながら自分の専門性を選択していく「学びながら選ぶ」カリキュラムを編成します。自らが学修計画を立て、主体的な学びを実践できるよう初年次教育科目を充実させるとともに、専門性を深めるための体系的なカリキュラムを編成します。学生は、学修達成度自己評価システム(ポートフォリオシステム)を活用し、常に「現状の確認」と「振り返り」を行うことにより、適切な履修科目を選択し専門性を高めていきます。学修により身につけた能力は、レーダーチャートにより可視化し評価します。
3. 体育大学が社会とどのように結びついているのかという命題を、武道、体育及びスポーツを通じた視点をもって学修するため「大学教育と社会との連携」に重点を置いた教育プログラムを設置します。そのプログラムでは、実社会との連携を強化したカリキュラムを編成しこれからの社会に必要な物事を自分で考え直し、問題の本質を見極め、既存の枠組みにとらわれず自由に発想し、他者と連携し問題解決を図る力を涵養します。授業で取り上げるテーマも社会との連携を徹底し、多様な評価方法を取り入れ多角的に評価します。
4. 武道、体育及びスポーツの専門性及び実践力を高めるため、実習や演習等を多用した教育プログラムの充実を図るとともに、より主体的な学修に向けて、すべての学生に演習Ⅰ、演習Ⅱ及び卒業研究を課すことで専門性を評価します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：ホームページに掲載)

<https://www.budo-u.ac.jp/outline/policy.html>

ホーム>大学案内>3つのポリシー)

(概要)

国際武道大学の建学の精神を理解し、武道、体育及びスポーツを通して自立した人間形成を目指すとともに、体育学の分野で学んだことを活かし、社会を豊かにしようとする意欲に満ちた者

I. 武道学科及び体育学科の求める学生像

1. 武道、体育及びスポーツに取り組んだ経験を活かし、主体的に武道、体育及びスポーツの知識・技能の向上に取り組もうと意欲に満ちた者
2. 武道、体育及びスポーツに関する専門的な学修経験を基軸とした思考力・判断力を活かし、社会で活躍しようとする意欲に満ちた者
3. 既成の事実や価値観にとらわれることなく広い視野を持ち、自ら課題を見出し、

武道、体育及びスポーツを探究しようとする意欲に満ちた者

II. 大学入学までに履修しておくことが望ましい教科・科目等

体育学は、文系・理系の枠を超えた複合的な学問です。したがって、すべての教科において基礎的な学習をしておくことが、発展的な理解を深めることにつながります。

III. 入学者選抜の基本方針

1. 総合型選抜

本学に強い関心を持ち、武道、体育及びスポーツに関する探究心と体育学の分野で学んだことを活かし、社会を豊かにしようとする意欲を持つ者を受け入れるために実施する。高等学校における活動内容や将来計画に関する自己紹介書、調査書に加え、面接試験では進学意識、就学力、期待度、将来計画及び総合評価を審査する。さらにプレゼンテーションでは、主体的な学びに向かう力を、思考力、判断力、表現力を通じて総合評価し、これらの合計得点により選考する。

2. 学校推薦型選抜（指定校）

本学が指定する高等学校において、学習成績及び人物ともに優れており、運動能力、武道、体育及びスポーツに関する深い理解、スポーツボランティア・スポーツ関連の地域活動実績などを持つ者を高等学校長の推薦により受け入れるために実施する。調査書、推薦書、自己紹介書及び面接試験の評価結果、さらにプレゼンテーションでは、主体的な学びに向かう力を、思考力、判断力、表現力を通じて総合評価し、これらの合計得点により選考する。

3. 学校推薦型選抜

本学に強い関心を持ち、明確な目的意識を持って学修に取り組む姿勢があり、優秀な競技成績・学習成績、武道、体育及びスポーツに関する深い理解、スポーツボランティア・スポーツ関連の地域活動実績、武道、体育及びスポーツに関する高い能力等を持つ者を高等学校長の推薦により受け入れるために実施する。調査書、推薦書、自己紹介書及び面接試験の評価結果、さらにプレゼンテーションでは、主体的な学びに向かう力を、思考力、判断力、表現力を通じて総合評価し、これらの合計得点により選考する。

4. 一般選抜

本学での学修に対応できる学力水準と武道、体育及びスポーツに関する能力等を持つ者を受け入れるために実施する。「筆記+実技型」では、大学入学共通テストの外国語のうち「英語」を必須とし、そのほかの受験科目のうち最高得点の1科目、及び本学で実施する実技試験（選択）の合計得点と調査書、武道・スポーツ調書の評価結果により総合的に選考する。「小論文+実技型」では、小論文と実技試験（選択）の合計得点と調査書、武道・スポーツ調書の評価結果により総合的に選考する。

5. 大学入学共通テスト利用選抜

本学での学修に対応できる学力水準を持つ者を受け入れるために実施する。大学入学共通テストの受験科目のうち高得点の2科目の合計得点により選考する。

上記のほか、国際社会及び地域社会の様々な分野において積極的に活躍することができる、多様な能力を持った者を受け入れるため「外国人留学生選抜」、「帰国者選抜」、「社会人選抜」を実施する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページに掲載

<https://www.budo-u.ac.jp/outline/disclosure/activity/organization/>

ホーム>大学案内>情報公開>大学の活動>大学組織

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
体育学部	—	23人	12人	0人	19人	0人	54人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		44人					44人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページに掲載 https://www.budo-u.ac.jp/outline/teachers/ ホーム>大学案内>教員紹介					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
体育学部	440人	371人	84.3%	1,760人	1,522人	86.5%	0人	2人
合計	440人	371人	84.3%	1,760人	1,522人	86.5%	0人	2人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
体育学部	389人 (100%)	4人 (1.0%)	347人 (89.2%)	38人 (9.8%)
合計	389人 (100%)	4人 (1.0%)	347人 (89.2%)	38人 (9.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>シラバス(Campus Life Guide)に以下の内容を記載して、ホームページ上に公開している。</p> <p>どのような授業があるのか(科目区分)、授業時間、授業概要、到達目標、毎時間ごとの授業計画、ディプロマポリシーとの関連性、受講・学習上のアドバイス、評価方法、実務経験のある教員等による授業の表示、教科書・参考書、CAP制、試験と成績など。</p> <p>授業計画の作成過程</p> <p>学生支援委員会において当該年度の作成ルール案を作成し学長の決定に従い、学内統一基準によるシラバスの作成を実施している。作成期間は11～2月、公開は3月末に実施している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>ホームページで公開しているシラバス(Campus Life Guide)に、大学としての成績評価の基準等及び授業ごとに評価項目/その割合/評価基準を示し、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
体育学部	武道学科	124 単位	有・無	46 単位
	体育学科	124 単位	有・無	46 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法: ホームページに掲載</p> <p>https://www.budo-u.ac.jp/campuslife/map/ ホーム>キャンパスライフ>キャンパスマップ</p> <p>https://www.budo-u.ac.jp/laboratory/ ホーム>国際武道大学 附属武道・スポーツ科学研究所</p>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	学年	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
体育学部	武道学科	1年次	715,000円	120,000円	514,000円	実験実習教材費 143,000円 施設設備費 371,000円
		2年次				
	体育学科	3年次	715,000円	0円	574,000円	実験実習教材費 203,000円 施設設備費 371,000円
		4年次				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>1. 国際武道大学後援会と大学が実施する全国展開の支部総会の充実を図り、保護者との連携を密にした大学生活全般の支援を強化する。 上記方針に基づいて、毎年、全国10支部で行われる後援会支部総会へ教員が出席し、保護者との個別面談を行っている。学生の成績・大学生活・クラブ活動等の状況について、保護者に伝えるとともに、入学から卒業・修了まで学生一人ひとりにあったきめ細かい指導に役立っている。</p> <p>2. 1・2年次生においてはクラス担任制度により学年を6分割で構成し、各クラスに7から8名の専任教員を配置している。クラスは学生が構成員となるもっとも身近な組織であり、「基礎ゼミナール」、「キャリアデザインⅠ(スポーツと仕事)」をはじめとする初年次教育科目のほか、学科必修科目等を受講するための科目となっており、主体的な学習スキル、自立した生活、卒業後の目標設定などの獲得を目指している。 また、進路、学修、生活等の指導上の単位でもあり、教員と学生及び学生相互間の人間的交流を深め、かつ、各クラスに置かれたクラス担当教員が、教育活動等に関し、学生に対して指導助言を行うことを目的としている。 3・4年次生には演習制度を採用し、学生個々の研究テーマや卒業研究の指導を行うと同時に、学生及び教員間の密接な信頼関係のもと、学修及び修学指導から進路・就職指導まで、きめ細やかな支援を行っている。</p> <p>3. 大学独自の、さまざまな奨学金及び学費減免制度による、経済的支援により学習機会の確保を推進している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生のキャリア形成を支援するため、進路選択に関わる指導・ガイダンスを実施し、キャリア教育(授業科目:キャリアデザイン等)を軸に、支援活動を展開している。 全学生に配付しているキャンパスライフガイドに、就職活動の手引きとして「就職Guide」を掲載し、就活支援とともに自己の職業観を涵養させている。 なかでも特異な支援セミナーとして「生き抜く力」を育む「オヤジ・オフクロのセミナー」や就職後の早期離職回避のための「就業観」の醸成が目的の「目で見えるインターンシップ(産学連携事業)」、また、社会人として不可欠な「実践的マナー講</p>

座」など、本学独自の支援プログラムを展開している。特に、年度初めには、3年次生を対象として開催する「就活オープニングセミナー」を開催し、これからの就職活動への奮闘を学生・教職員が一体となって誓い合うセミナーとなっている。

また、支援の根幹である「進路（就職）支援ガイダンス」を毎月1回「必須参加」として開催のほか、先に述べた支援事業をはじめ、全学生を視野に入れた幅広い事業を展開している。なかでも、教職希望者に対し、「教員採用模擬試験」や千葉県教育委員会や関連機関による「教員採用試験説明会」・「講師登録説明会」等を実施しているほか、教職課程委員会において、教員指導による「教職塾」を開講している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

キャンパスライフを有意義なものとするために学生の心身をケアするための支援体制を充実させている。心身の健康保持・増進及び安全・衛生に関する取り組みについては、健康管理センターを中心とした体制を構築している。

学生及び教職員の健康の保持・増進を図ることを目的に、健康管理の企画・立案、健康診断並びに事後措置、健康相談及び応急処置、精神衛生に関する指導助言、環境衛生及び感染症の予防に関する指導助言、保健衛生に関する普及啓蒙、その他健康の保持増進についての必要な専門的業務を行っている。

体育大学で学ぶ学生たちに対応した定期的なスポーツドクターによる医事相談、女子学生に特化した医事相談、管理栄養士による栄養相談、臨床心理士による心の相談窓口を開設し支援をしている。

また、学生を対象にしたインフルエンザ予防接種を実施している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページに掲載

<https://www.budo-u.ac.jp/outline/disclosure/data.html>

ホーム>大学案内>情報公開>教育研究活動等の状況

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F112310102486
学校名	国際武道大学
設置者名	学校法人 国際武道大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		173人	168人	181人
内 訳	第Ⅰ区分	98人	103人	
	第Ⅱ区分	48人	47人	
	第Ⅲ区分	27人	18人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				181人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	-		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-		
「警告」の区分に連続して該当	18人		
計	23人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期		後半期	

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)			
GPA等が下位4分の1	22人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	24人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。